

「IP 防犯ネット」情報 Vol.285

～コンビニ店での特殊詐欺阻止対策を徹底取材～

令和2年12月2日
石川県警察本部
生活安全企画課

金沢西署では、4年間の間で5回も特殊詐欺被害を阻止した実績のあるコンビニ店のマネージャーAさんから被害を防ぐポイントや普段から気をつけている点を徹底取材!



とても参考になる内容だったので、皆さんにもお伝えします。

ぜひご活用いただき、皆さんの力で特殊詐欺を撃退しましょう!!

「大丈夫ですか?」でなく
「何に使うの?」

常に新しい情報を

まずAさんがあげたのは、お客さまへの声の掛け方。

詐欺の被害を防ぐためには、その手口を知ることが重要だと考えるAさん。

騙されているのかとも思っても、

常に**新聞記事や警察などからの新しい情報**に目を光らせ、それらを事務所に掲示することで、従業員間で詐欺の手口の情報を共有しているといえます。

「大丈夫ですか?」
「詐欺じゃないですか?」

そして、お店独自に、新しい詐欺の手口にあわせた「お客さまへの声かけロールプレイング」も行っているそうです。

という声掛けでは、お客さまが警戒してしまい、詐欺を防ぐ効果は薄いと感ずるそうです。

そこでAさんは、

さらに、最新の詐欺の手口の情報は従業員間だけでなく店内に掲示物を飾ることで、お客さまに伝える工夫もされています。

「何に使うの?」
「ゲームに使うの?」

今回、Aさんからお話をうかがい、被害を防ぐために、Aさんを始めた従業員の方々が、お忙しい中数々の工夫や努力を行ってくださっていることが分かりました。

といった聞き方をするので、お客さまの反応を見つづ、すぐに答えられない様子などがあれば、詐欺を疑うといえます。

また、電子マネーを購入しようとするお客さまに関しては、何十万円分もの高額の場面はもちろん、二万円や四万円といった切りの良い金額も詐欺の可能性があるので、気を付けているそうです。

また、電子マネーを購入しようとするお客さまに関しては、何十万円分もの高額の場面はもちろん、二万円や四万円といった切りの良い金額も詐欺の可能性があるので、気を付けているそうです。

また、電子マネーを購入しようとするお客さまに関しては、何十万円分もの高額の場面はもちろん、二万円や四万円といった切りの良い金額も詐欺の可能性があるので、気を付けているそうです。

お話を聞かせてくださったAさん、ありがとうございました。

～被害を阻止するチェックポイントのおさらい～

- 1 電子マネーの購入方法、取扱いに不慣れな様子はないですか?
- 2 電子マネーの購入額が高額または複数枚の購入ではないですか?
- 3 携帯電話で通話しながら(誰かから指示されている様子)の購入ではないですか?

コンビニ店の他にも様々な場所で特殊詐欺が発生しています。

周囲の方に広く呼び掛けていただき、家族・地域の絆で詐欺を撃退しましょう!